

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	ウプサラ大学 (国名:スウェーデン )	
留学先学部名(またはプログラム名)	協定校交換留学	
留学期間	2015年 9 月 ~ 2016 年 6月	
学部/学府・年次	経済 学部/学府	3 年次~ 4 年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	④・無 (期間: 6 カ月 )	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため ②. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため 4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	特になし	
進路の予定	①. 就職 ( 時期: 4月から / ( 2017 )年 ( 10 )月から) 2. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: )	
前項で1と答えの方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)	2016 年 7 月。留学生用 7 月選考に参加	
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	影響した。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	役立った。	
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	International Business : Marketing, Consumer, Companies and Culture と Organizational Behavior の 15 単位分のパッケージ。前者は消費者マーケティングの基礎、及びその企業間取引への応用を 2 回のテキストに関するプレゼン、及びグループでの論文作成、期末テストで学修する。後者は組織行動学の基礎を全 7 回のテキストに関するプレゼン、及び期末テストで学修する。 The Sustainable Future, The Global Economy, The Sustainable Design : 持続可能な社会の実現を目指す開発発展学。レクチャー、グループディスカッション、グループワークなどを通し、持続可能性とは何か、いかに実現するかを取り扱う。 Practical English : 2 回のエッセイ、及びプレゼンテーションを通して、実用的な英語を身に付けることを目標とした授業。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>語学面:特に活用しなかったため、細かく知るわけではないが、授業で課された課題に対する添削を行ってくれるサービスがあるとのこと。またバディープログラム、言語交換クラブ(Uppsalingo)などもあるためサポートは充実している。</p> <p>勉強面:特別なサポートは聞いたことがない。</p> <p>精神面:よくわからない。</p> <p>住居・生活面:学校が民間の会社に委ねているので、学校からのサポートはない。また融通は効かない(退去日を早めるなど)上に、寮の中には古すぎる建物もあり、幾度となくインターネット使えないといった状況に陥った。この際も学校側のサポートはなかった。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>下記3点において、満足している。</p> <p>1点目、CEMUSの授業を取れたこと。 ウプサラ大学に特異な授業であり、いわゆる海外大学の講義らしくディスカッションや、グループワーク中心に行われ、アクティブであったこと、また内容も持続可能性に関するもので、新鮮だったことが理由である。</p> <p>2点目、たくさんの留学生がいること。 世界中から留学生が来ており、異文化交流をスウェーデンに居ながら果たせたこと。例えば私が住んでいた寮にはおよそ1000人の留学生と1000人のスウェーデン人が住んでおり、このような環境はまれであると思う。</p> <p>3点目、学生団体が年中イベントを行っていること。 ウプサラ大学には、Nationと呼ばれる全学生が加入する学生団体が13存在し、毎週イベントが開かれている。異文化交流のものや、季節柄のもの、スポーツ、文化など多岐にわたり、常時他学生との交流を図ることができる。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>留学当初に困ったことが2点あり、どちらも日本に居ながら対策出来ることである。</p> <p>1点目、交通や、住居や、手続きなど、生活をスタートさせることに困難を感じた。スーパーなどもスウェーデン語表記の上に、勝手が違うため、思うようにいかないことがあった。たとえば、日本とは違い改札が存在しないところがあり、ネットであらかじめチケット購入し、電車の中で駅員に見せるという電車の乗車方法や、不在票が入れられてから15日後には連絡なしに小包が送り返されてしまう郵便システムなど、である。日本にいるときから、時間をとってある程度調べてくるのがよい。</p> <p>2点目は、英語力。英会話が出来ずにくるのは、日本人ぐらいなので、留学当初は困難を感じた。ぜひ国際交流サークルや、留学生プログラムに参加するなどして、特に英会話を対策してくることをおすすめする。</p>
-------------------------------	--

<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	
<p>ビザ申請先</p>	<p>スウェーデン移民局</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続き</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>平日は授業の課題や、グループでのミーティング、講義などに時間が当てられ、週末は上記 Nation が運営するパブや、クラブに行く、寮でのパーティに参加するというのがメジャーな日常生活であり、非常に充実していたと思う。</p> <p>特に学生寮では留学生半分、スウェーデン人半分の計12人での共同生活であり、彼らといろんなことを話せた。スウェーデンにはFIKAと呼ばれるお茶の文化があり、コーヒーを飲みながら、数時間にわたってしゃべっているというのが、普通であった。ぜひゆったりとしたスウェーデンの屋下がりを楽しんでほしい。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 15万 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 6万 円、光熱水料: 0 円、通学費:2000 円、食費: 6万 円、電話代: 1000 円、インターネット代: 2000 円、書籍代: 3000 円</p> <p>その他:(具体的に) 交際費(アルコールや、パブ入場料、Nation に収めるもの)2万 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 0 円 (徴収された費用の名目を具体的に: )</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	PC、C型プラグ(clasorlsenでも購入可)、ユニクロのヒートテック。
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>治安は良いと思う。女性でも夜に一人で出歩いている姿を目にする。</p> <p>スウェーデンは先進国なので、総じて困ることは少ない。</p> <p>防寒対策はするに越したことはない。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>クレジットカード社会なので、100円のコーヒーを買うのにもカードを用いる。キャッシングを使う機会はほぼなく、おろすときはATMにてクレジットカードの海外キャッシングを用いた。現金を持参する必要はない。</p> <p>私は二カ月で上限30万の海外キャッシング機能付きクレジットカード(Lifecard)及び、口座残高が上限になる海外キャッシング機能付きデビットカード(Japanet デビット)、他数枚のクレジットカードを持参した。基本的には還元率の高いとされるLifecardを用い、多くのお金を必要とする留学当初や、学期初めには上限のないデビットカードを追加で活用した。</p>

<b>4. 住居、生活環境</b>		
住居の種類(○印をつける)	・ <input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )	
住所／電話番号	Semanders, Uppsala, Sweden	
費用(月額)	6万	
どのようにして見つけたか	ウプサラ大学からのメールにて	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	<p>推薦できる。</p> <p>メリット:一番社交的な寮。他の寮と比べて最多の12人でキッチンを共有するため、寮にしながら交流を図れる、またパーティーも多く行われ、にぎやかである。</p> <p>デメリット:自分の参加しないパーティーも多く行われ、うるさい。また人数が多いため基本的には共同スペースは汚い。</p> <p>騒音や、不衛生が気にならず、留学生と時間を過ごしたい人には最適なチョイス。</p>	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冬が、寒く、暗い。寒いのが苦手な人は、留學先として考え直すのが良い。</li> <li>・スウェーデン人はシャイだと言われ、そんなに社交的ではないので、積極的に自分から話しかけるのが良い。</li> <li>・物価が高く、自炊を強いられる。</li> <li>・食文化が発展しておらず、バラエティに富んでいない。例えばコリドーメイトのランチは決まってソーセージとパスタの素麺にケチャップをかけたもの。</li> <li>・夏は日が長い。太陽が好きな人にはおすすめ。</li> <li>・治安が気になる女子学生も安心して留學生活を送れる。</li> </ul>	
<b>5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト</b>		
サイト名	URL	コメント

--	--	--

**6. その他の特記事項**

スウェーデンの中でも教育環境、自然環境、Nationの存在などの理由で、ストックホルムの大学と比べおすすりできる。ストックホルム大学、KTH大学と迷っている学生はウプサラ大学を選択するのがよい。